

総社市立総社小学校いじめ防止基本方針

令和7年4月 改定

いじめに関する現状と課題

・本校のいじめはどの学年のどの時期でも起こる可能性がある。いじめの内容については、からかいや仲間はずれなどが多く、加害者は自分たちがいじめているという意識が低いケースが多い。そのため、担任は、子どもと定期的に教育相談を行い、子どもの内面の把握を図るとともに、担任以外も授業中、休み時間など児童と関わりを持ちながら、相互に密接に連携し、学校全体で児童の様子を把握していく必要がある。また、研修の機会を設け、より適切な対処のための教職員研修の充実も必要である。そうすることで、いじめの対処だけでなく、未然防止の取り組みをより強く推進し、子ども同士のつながり「ソーシャルボンド」をより強固になるよう指導・支援を教職員で行っていけるようにする。

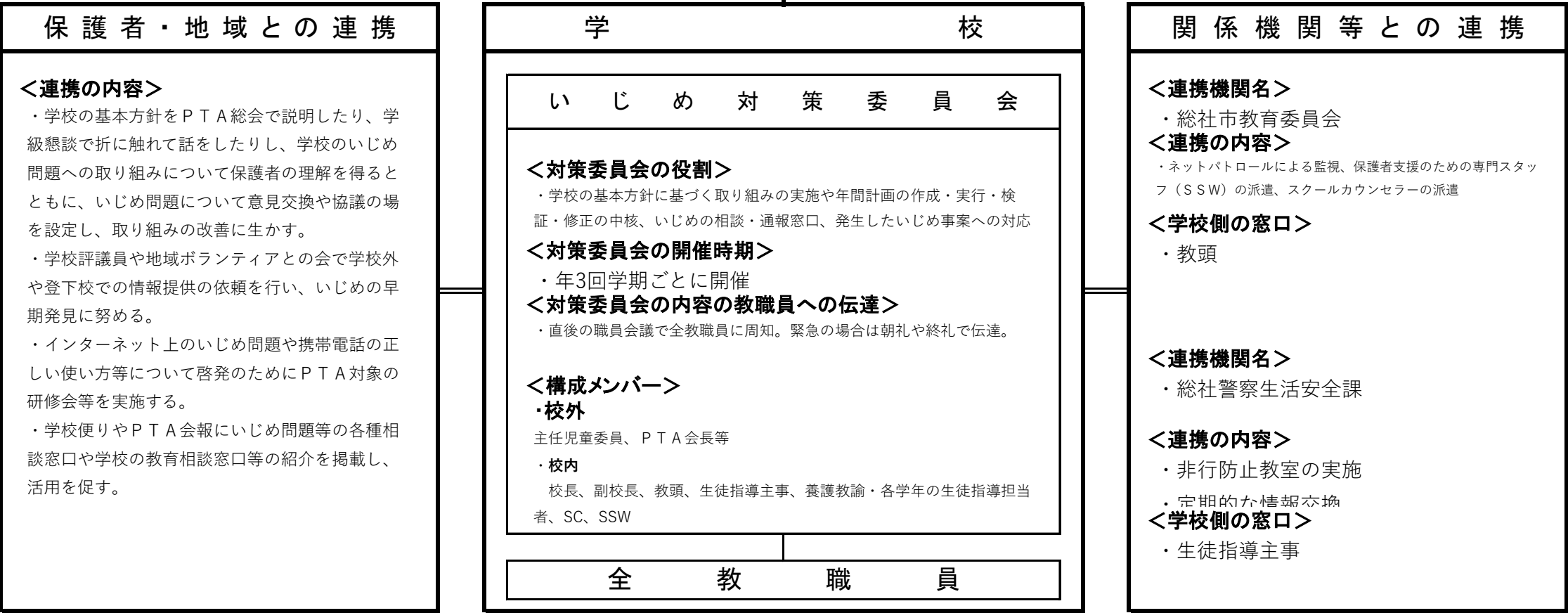
いじめ問題への対策の基本的な考え方

・学校をあげて取り組みを推進していくために、いじめ対策委員会には、校長・教頭・生徒指導主事・養護教諭以外に各学年の教職員等も参画し、児童の様子を共通理解するとともに、それぞれの立場から実効的ないじめ問題解決のための取り組みを行う。

・いじめの未然防止に向け、「だれもが行きたくなる学校づくり」を中心とした児童の主体的な活動を進めるとともに、誰もが活躍できる機会や児童同士のつながりを強める活動を設けることで、自己有用感や充実感を感じられる学校づくりを進める。

<重点となる取組>

・いじめの早期発見のために毎月アンケートを実施したり、1・2学期に1度ずつ教育相談週間を設けたりして、児童の内面を把握できるようにするとともに、年間5回自由個人懇談日を設定し、保護者からの訴えも積極的に聞けるようにする。また、終礼やケース会議を開くことで、得られた情報を教職員間で共有を図ることができるようにする。



総社市立 総社小学校 いじめ問題への対策に関する年間計画

内容	職員会議、対策委員会 等	学 校 が 実 施 す る 取 組		
		① 未然防止の取組	② 早期発見の取組	③ いじめへの対処
4 月	○職員会議 ・基本方針、指導計画の確認 ○生徒指導部会	○学級づくりの取り組み ○だれもが行きたくなる学校づくりプログラムの計画・実施 (SEL・ピアサポート) ○民生委員・主任児童委員会 ○たてわり遊び(年間)	○いじめ実態把握アンケート	○発生事案への対応手順の共通理解
5 月	○生徒指導部会		○いじめ実態把握アンケート ○希望個人懇談(4月30日～5月2日) ○教育相談(5月23日～5月30日)	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
6 月	○いじめ対策委員会 ○生徒指導部会 ○学校評議員会	○いじめについて考える週間	○集団アセスメントの実施 ○いじめ実態把握アンケート ○自由個人懇談	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
7 月	○生徒指導部会		○いじめ実態把握アンケート ○個人懇談(夏季休業)	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
8 月	○職員研修(いじめについて) ○学級経営に関する研修			
9 月	○生徒指導部会 ○学校評議員会		○いじめ実態把握アンケート ○自由個人懇談	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
10 月	○生徒指導部会		○いじめ実態把握アンケート ○自由個人懇談	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
11 月	○生徒指導部会		○いじめ実態把握アンケート ○教育相談 (11月14日～11月25日)	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
12 月	○生徒指導部会 ○いじめ対策委員会	○人権週間	○いじめ実態把握アンケート ○個人懇談(2学期末)	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
1 月	○生徒指導部会		○いじめ実態把握アンケート ○自由個人懇談	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
2 月	○生徒指導部会	○非行防止教室 ○総小フェスティバル	○いじめ実態把握アンケート ○集団アセスメントの実施 ○自由個人懇談	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処
3 月	○生徒指導部会	○学校支援ボランティア情報交換会	○いじめ実態把握アンケート ○小中連絡会	○アンケート結果の検討 ○いじめへの対処

※通年を通してSC、SSWと連携